



個人投資家の皆さまへ

富士製薬工業株式会社 会社説明会

2023年7月11日
富士製薬工業株式会社

東証プライム 4554

略歴：

- 1973年、京都市生まれ、つくば市で育つ
- 高校卒業後、京都、神戸、大阪、米国を経て2002年から東京在住
- 職歴は、商業銀行、投資銀行、総合商社、地方銀行を経て当社入社
- 当社では、事業開発部（2017-18：出向）、経営企画部（2019-）

趣味：

- トレーニング・散歩・犬と遊ぶ
- 読書
- スポーツ（観る方）



常務執行役員
経営戦略本部
経営企画部長
佐藤 武志

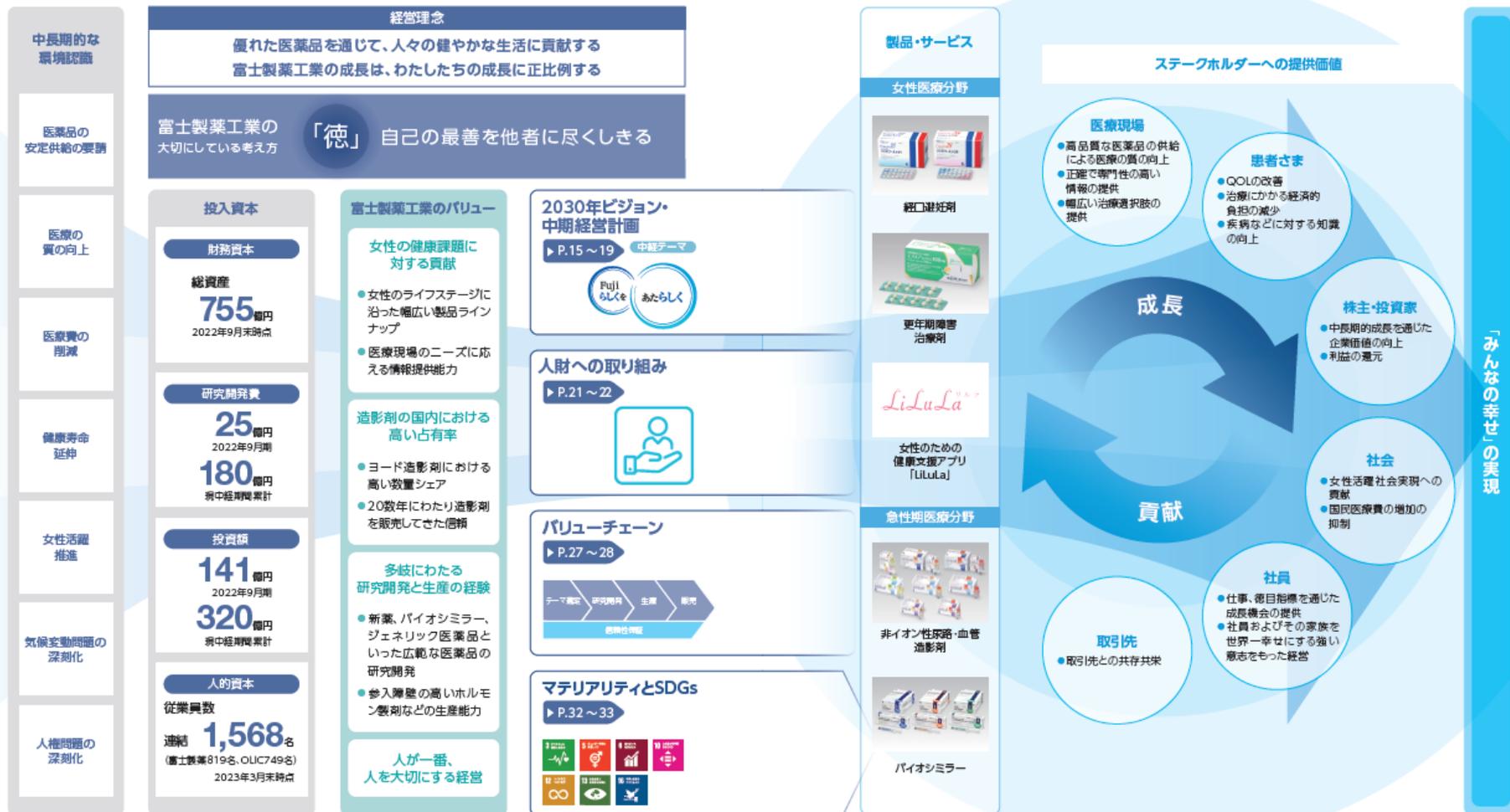
- 1. 富士製薬工業とは？**
- 2. 女性医療領域のスペシャリティファーマ**
- 3. 財務戦略**



Chapter

1

**富士製薬工業
とは？**



※統合報告書2023 P.9~10にも記載がございます。
https://www.fujipharma.jp/_upload/2023.pdf

1

経営理念

優れた医薬品を通じて、人々の健やかな生活に貢献する
富士製薬工業の成長は、わたしたちの成長に正比例する

富士製薬工業の
大切にしている考え方

「徳」 自己の最善を他者に尽くしきる

中長期的な
環境認識

医薬品の
安定供給の要請

医療の
質の向上

医療費の
削減

健康寿命
延伸

女性活躍
推進

気候変動問題の
深刻化

人権問題の
深刻化

投資資本

財務資本

総資産

755 億円
2022年9月末時点

研究開発費

25 億円

2022年9月期

180 億円
期中経理発表計

投資額

141 億円
2022年9月期

320 億円
期中経理発表計

人的資本

従業員数

連結 1,568 名
(富士製薬819名、CLIC749名)
2023年3月末時点

富士製薬工業のバリュー

女性の健康課題に 対する貢献

- 女性のライフステージに沿った幅広い製品ラインナップ
- 医療現場のニーズに応える情報提供能力

造影剤の国内における 高い占有率

- ヨード造影剤における高い設置シェア
- 20数年にわたり造影剤を販売してきた信頼

多岐にわたる 研究開発と生産の経験

- 新薬、バイオシミラー、ジェネリック医薬品といった広範な医薬品の研究開発
- 参入障壁の高いホルモン製剤などの生産能力

人が一番、
人を大切にする経営

2030年ビジョン・ 中期経営計画

▶ P.15 ~ 19 中経テーマ



人財への取り組み

▶ P.21 ~ 22



バリューチェーン

▶ P.27 ~ 28



マテリアリティとSDGs

▶ P.32 ~ 33



2

製品・サービス

女性医療分野



経口避妊剤



更年期障害 治療剤



Lilula[®]

女性のための
健康支援アプリ
「Lilula」

急性期医療分野



非イオン性造影剤-血管
造影剤



バイオシミラー

ステークホルダーへの提供価値

医療現場

- 高品質な医薬品の供給による医療の質の向上
- 正確で専門性の高い情報の提供
- 幅広い治療選択肢の提供

患者さま

- QOLの改善
- 治療にかかる経済的負担の減少
- 疾病などに対する知識の向上

成長

株主・投資家

- 中長期的成長を通じた企業価値の向上
- 利益の還元

社会

- 女性活躍社会実現への貢献
- 国民医療費の増加の抑制

貢献

社員

- 仕事、役目目標を通じた成長機会の提供
- 社員およびその家族を世界一幸せにする強い原動力をもちた経営

取引先

- 取引先との共存共栄

「みんなの幸せ」の実現

3

経営理念

優れた医薬品を通じて、人々の健やかな生活に貢献する
富士製薬工業の成長は、わたしたちの成長に正比例する

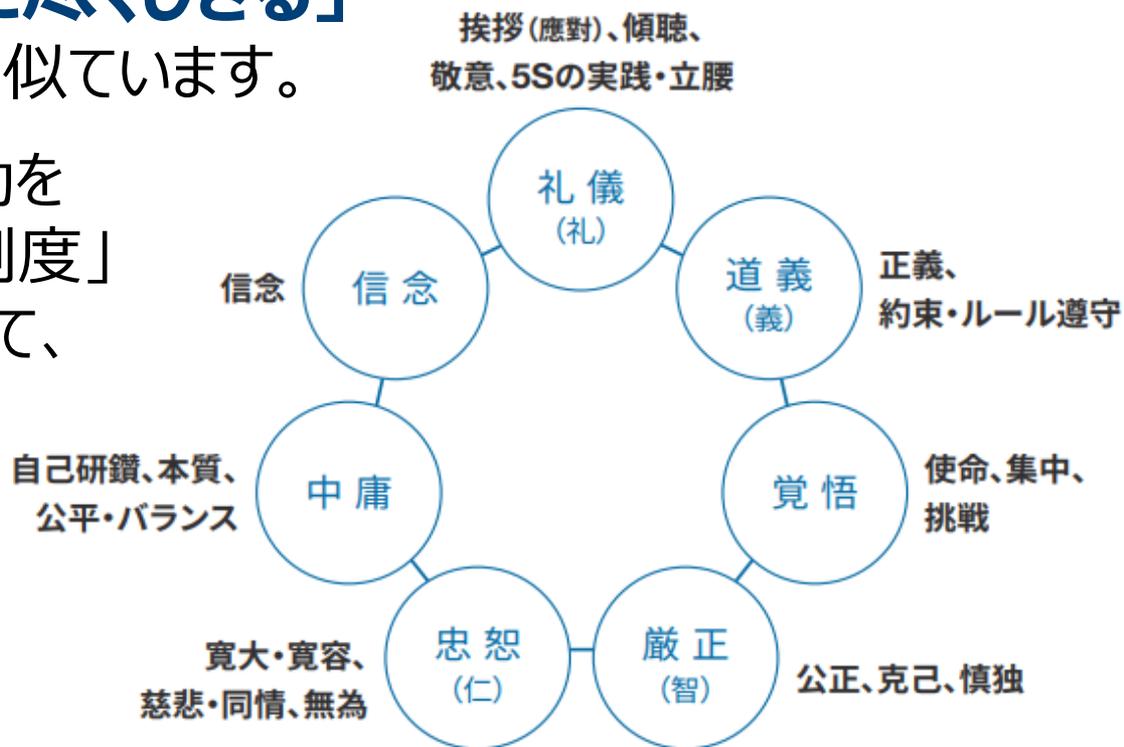
- 富士製薬工業は、創業のときから、「**貢献**」と「**成長**」という経営理念を大切にしてきました。
- わたしたちが、貢献と成長というサイクルを回し続けることで、「**みんなの幸せ**」を実現してまいります。
- 経営理念社内サーベイ（2022年実施）
 - ✓ 経営理念に共感している **93%**
 - ✓ 経営理念を仕事で意識している **95%**

富士製薬工業の
大切にしている考え方

「徳」 自己の最善を他者に尽くしきる

- 経営理念は、中国古典を発祥とする、
「自己の最善を他者に尽くしきる」
という、「徳」の考え方とよく似ています。

- 当社は、この考え方と行動を
2011年から「徳目評価制度」
として導入し、制度を通じて、
社員一人ひとりが
大きな貢献と成長を
実践していくことを
期待しております。



2030年ビジョン わたしたちが、経営理念の実践を通じて、2029年9月期末に到達したい「ありたい姿」が2030年ビジョンです。

- **世界の女性のwell-beingの向上に貢献している**
すべての女性が自分の人生を自分らしく生きることができるように、医薬品を通して貢献してまいります。
- **薬の富山からGlobal Marketに進出している**
半世紀以上にわたり富山で培ってきた探求心と技術をもとに、世界中の人々の健やかな生活に貢献してまいります。
- **世界一幸せな会社と社会貢献が一体化している**
社員の成長と社会への貢献のサイクルを回し、みんなの幸せを実現します。

テーマ

Fujiらしくをあたらしく

10年後
の目標

目的

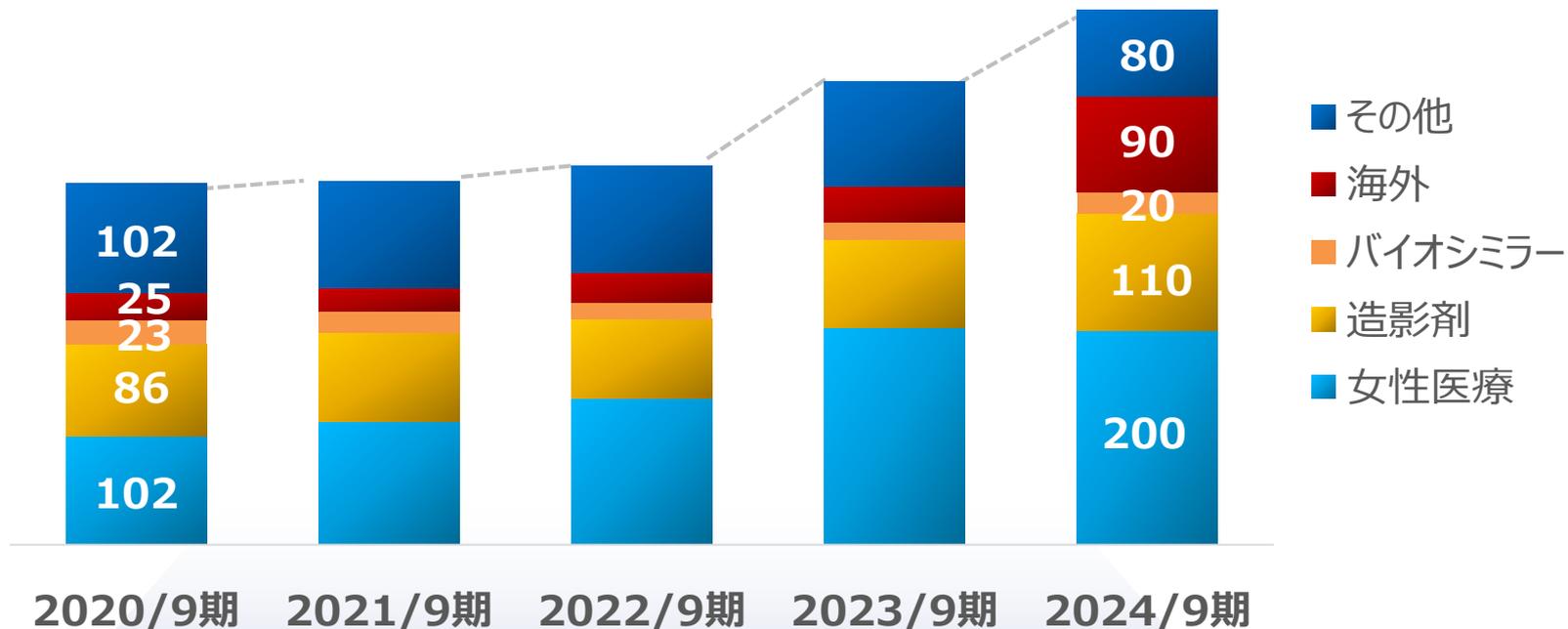
新たなビジョンに基づく
中期経営計画位置
付け2030年ビジョンの
中間地点
連結売上高
1,000億円超
成長
シナリオ

- 女性医療領域No.1へ
- 持続的な造影剤事業への進化
- バイオシミラー事業の確立
- 海外事業の強化

営業利益率
20%超
達成に
向けて

戦略軸・機能軸での実行態勢を構築
半期ごとにモニタリングを実施
毎年ローリングを実施

- 2024年9月期、連結売上高 **500億円** を計画



中期経営計画 9つの戦略

① 女性医療

② 注射製剤

③ ホルモン製剤

④ 次世代技術

⑤ バイオシミラー

⑥ アジア

⑦ 北米

⑧ 人財

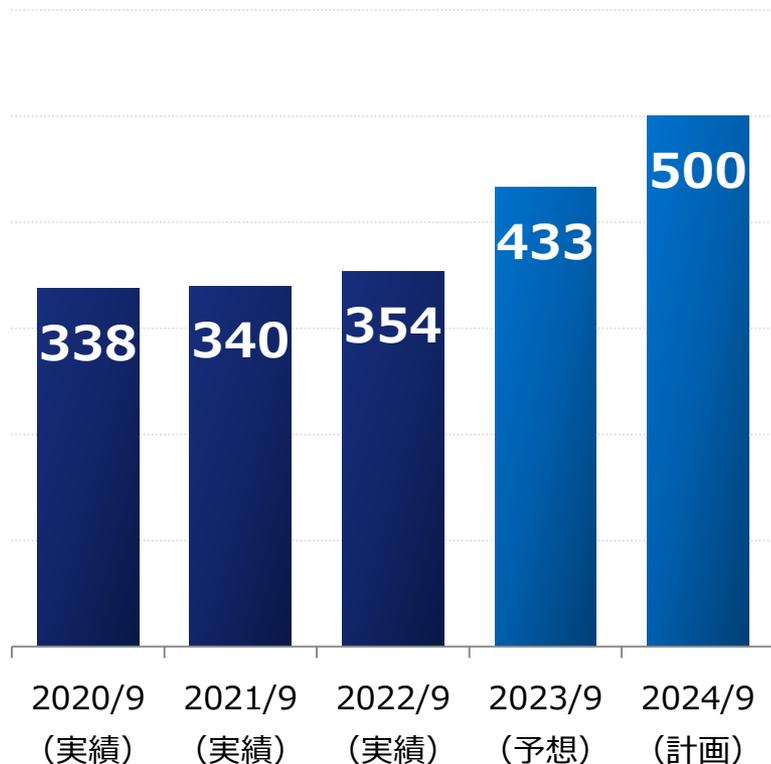
⑨ サステナビリティ

※単位：億円

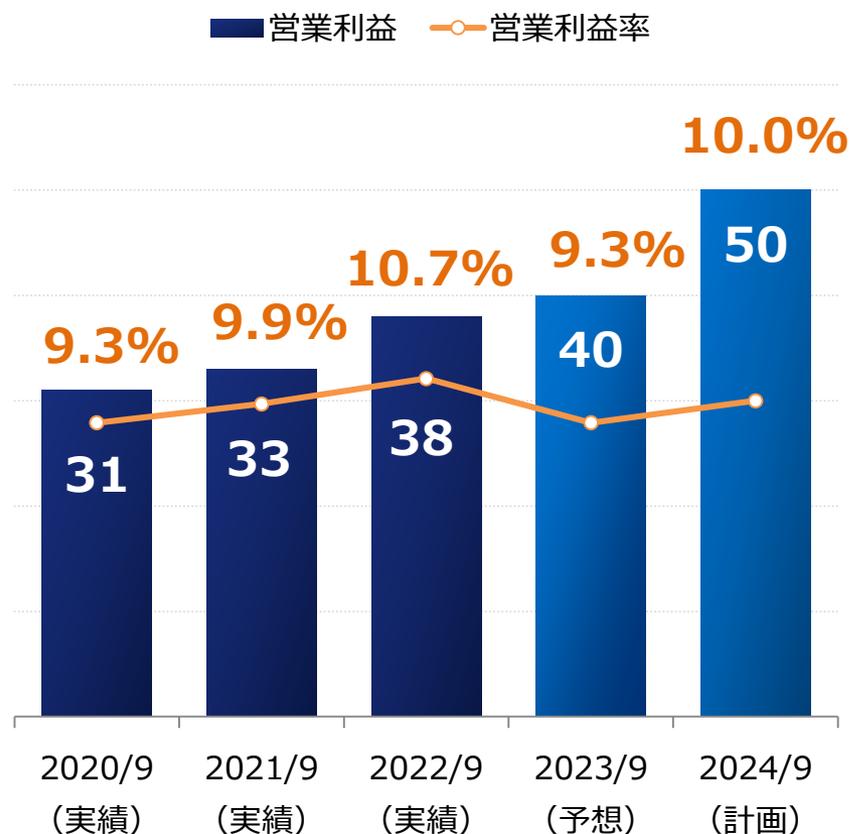
～2022年9月期は実績値、2023年9月期は予想値、2024年9月期は計画値

- 2024年9月期の目標達成を視野に捉える

売上高（億円）



営業利益（億円） / 率（%）



● サステナビリティ基本方針

1. 貢献
2. 成長
3. コンプライアンス
4. 人権尊重
5. 環境保全・保護

● 環境への取組み

- ✓ 富山工場：オフサイトPPA
- ✓ タイ：太陽光発電開始



● マテリアリティ※1の特定

最重要課題

- ①品質保証・安全性確保
- ②研究開発 ③安定供給
- ④人財育成 ⑤従業員の健康
- ⑥コンプライアンス・法令遵守
- ⑦ワークライフバランスの推進

※1 全18項目

● 社会への取組み

- ✓ 第8回
女性からだ会議®
大賞2022



- ✓ とやま女性活躍
推進企業認定



- ✓ B.LEAGUE
2022-23シーズン
富山グラウジーズ
スポンサー



● EcoVadisサステナビリティ・サプライチェーン評価※2 シルバーメダル獲得



※2 2022年度

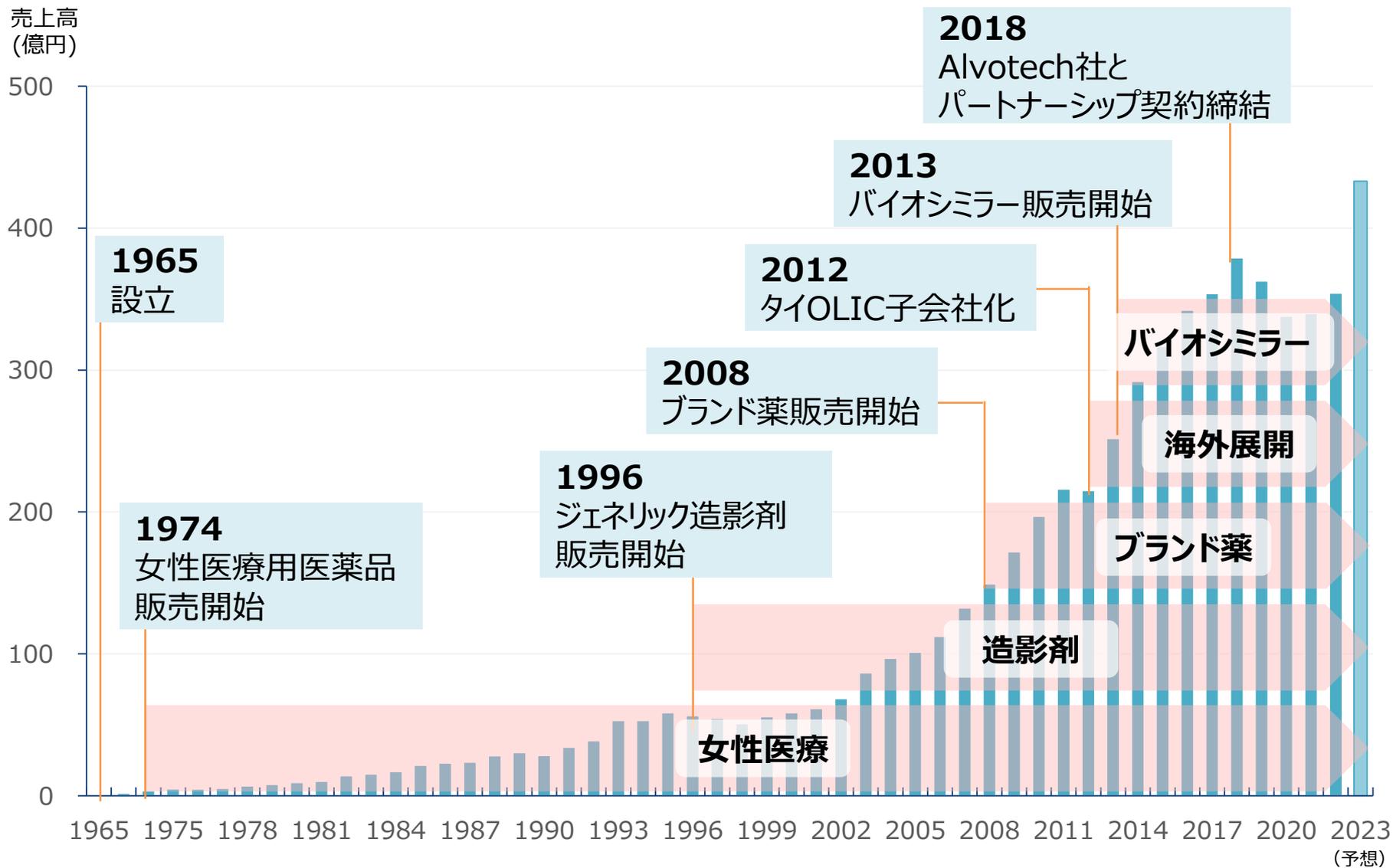
● コーポレート・ガバナンス

- ✓ 独立役員：55% (6名※3)
- ✓ 女性役員：27% (3名※3)
- ✓ 独立役員会の開催
 - 独立社外役員のみを構成員とし半年に一度開催

※3 全役員11名中

- 創業： 1954年
- 所在地： 本社 東京／工場 富山／子会社 タイ
- 売上高： 354億円 (22年9月期)
- 従業員： 1,568名 (23年3月末時点)
- 取引所： 東京証券取引所プライム市場 (4554)







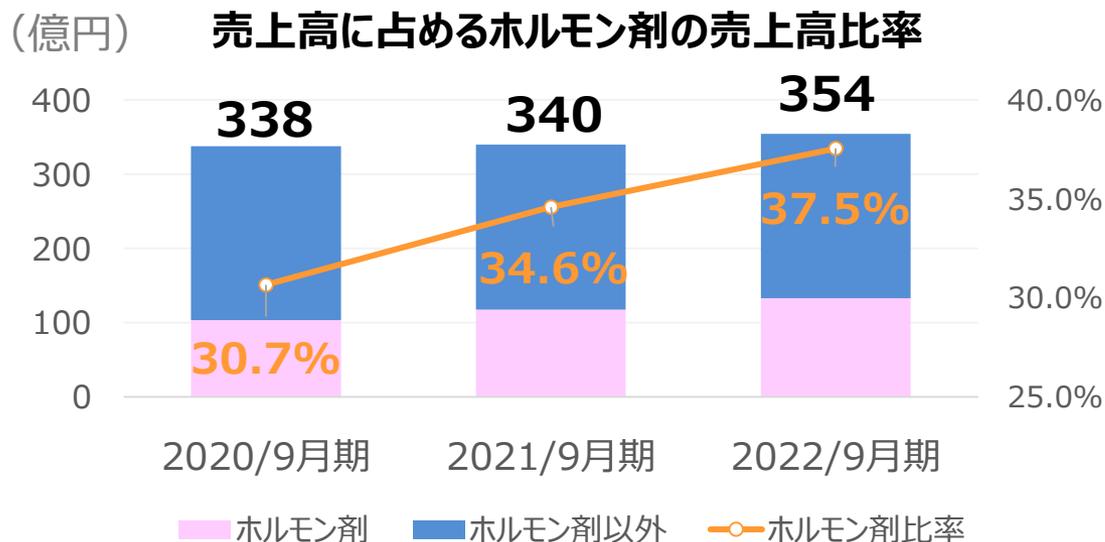
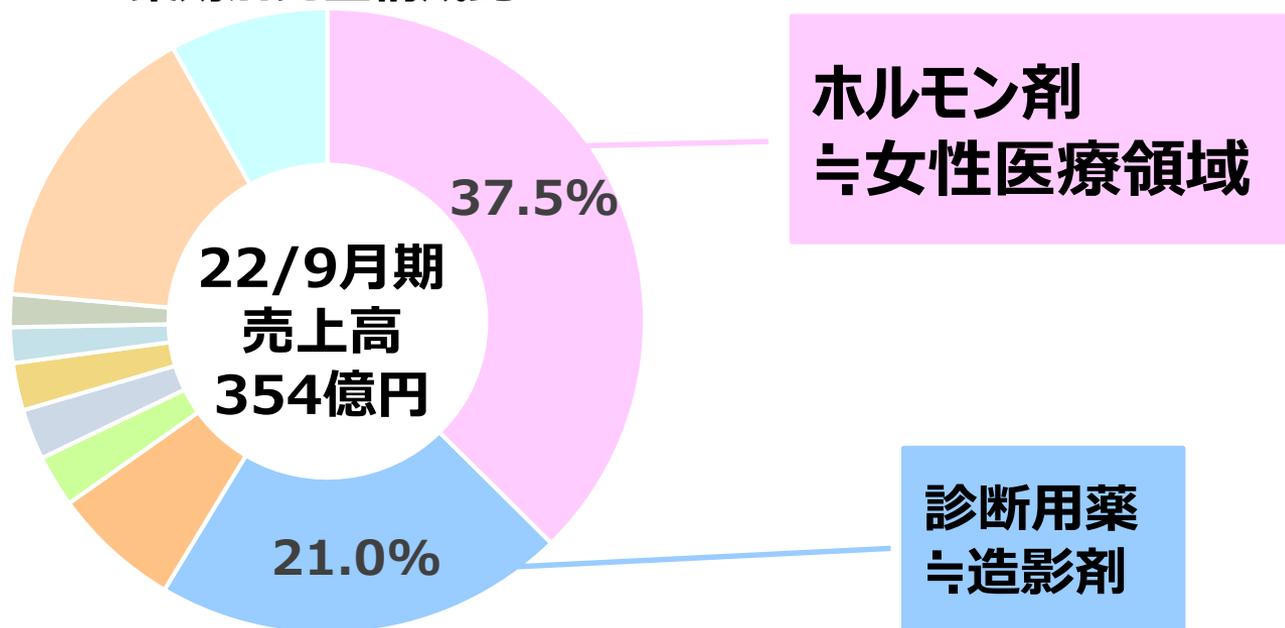
Chapter

2

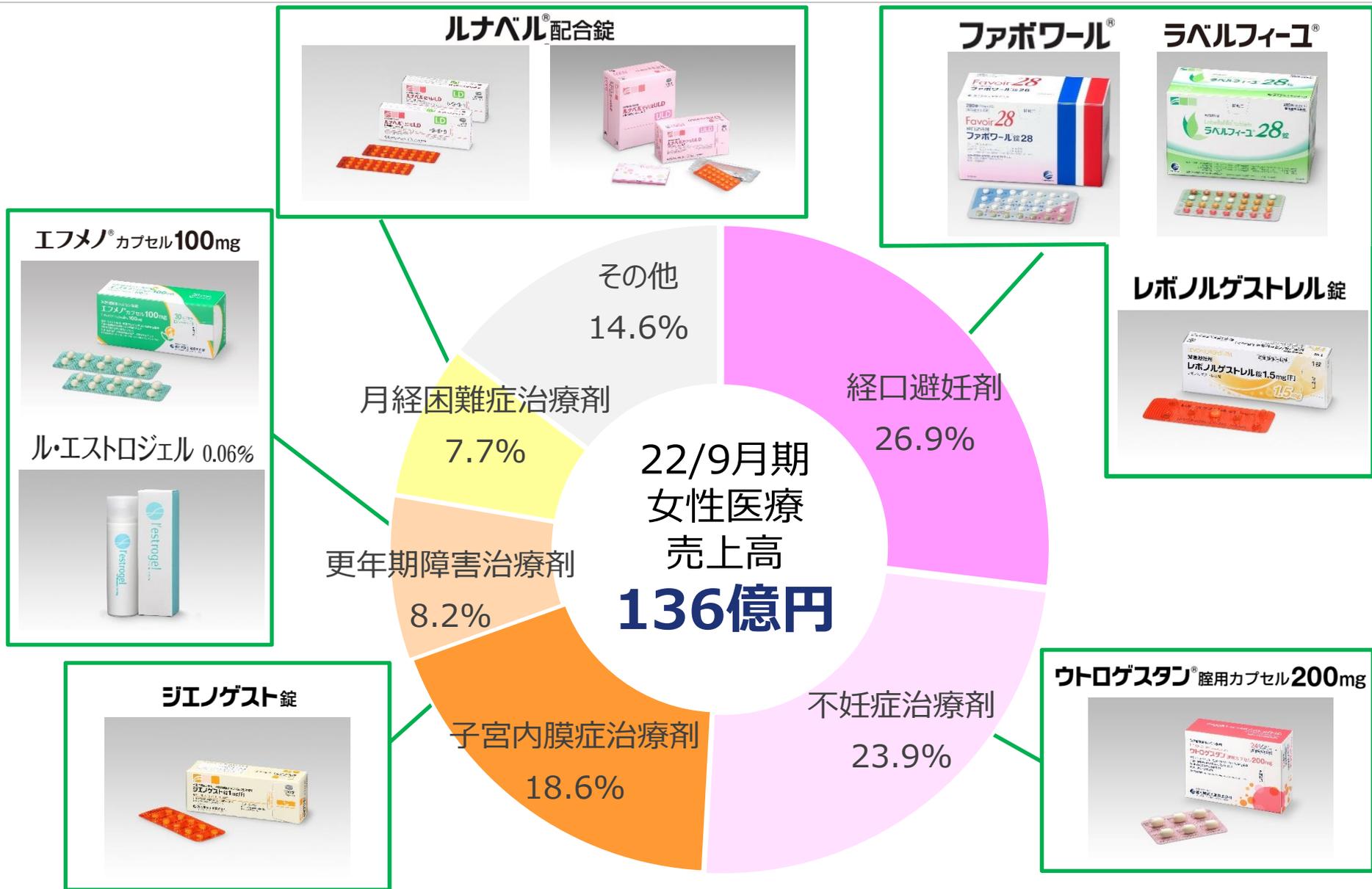
女性医療領域の スペシャリティファーマ

「女性医療領域のスペシャリティファーマ」

薬効別売上構成比

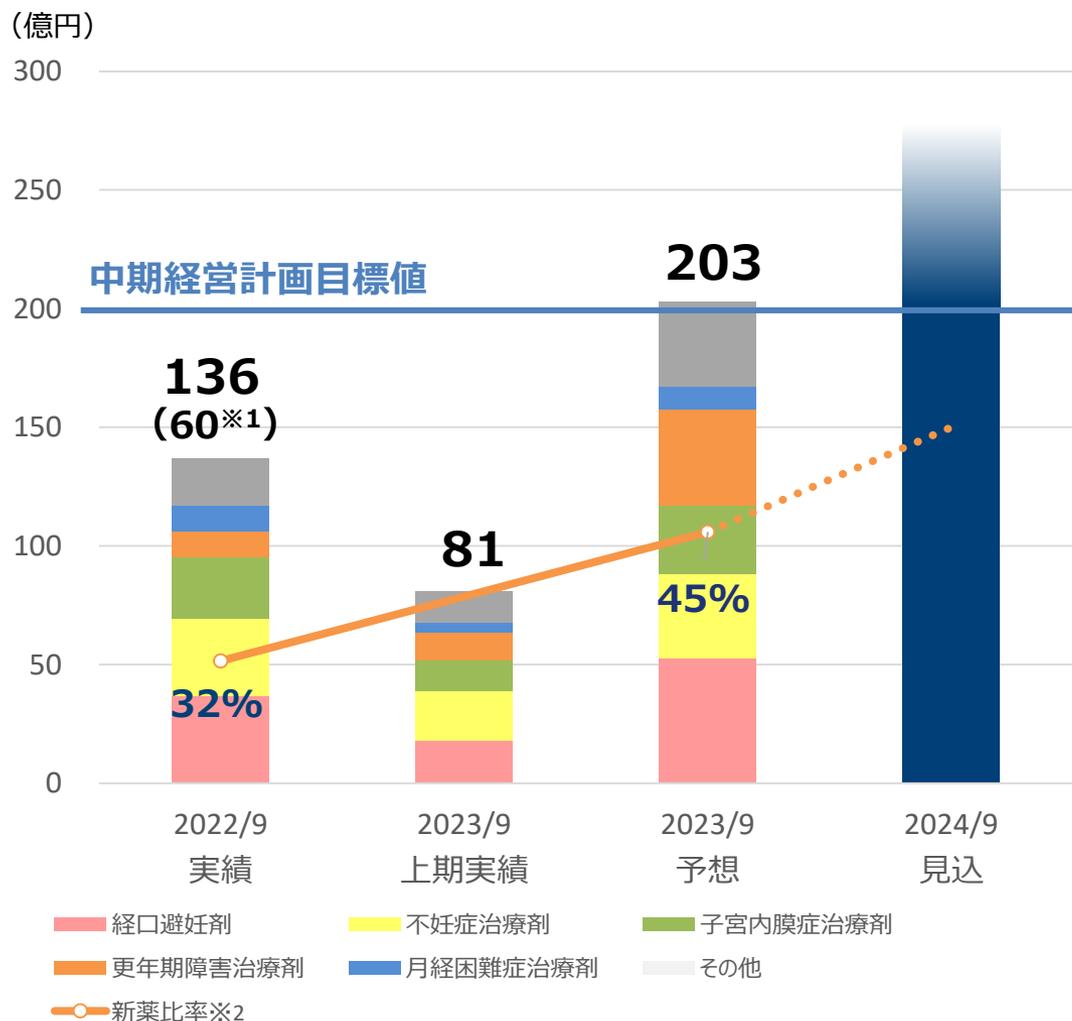


多様な疾患領域への多様な医薬品の提供



女性医療領域での更なる貢献と成長

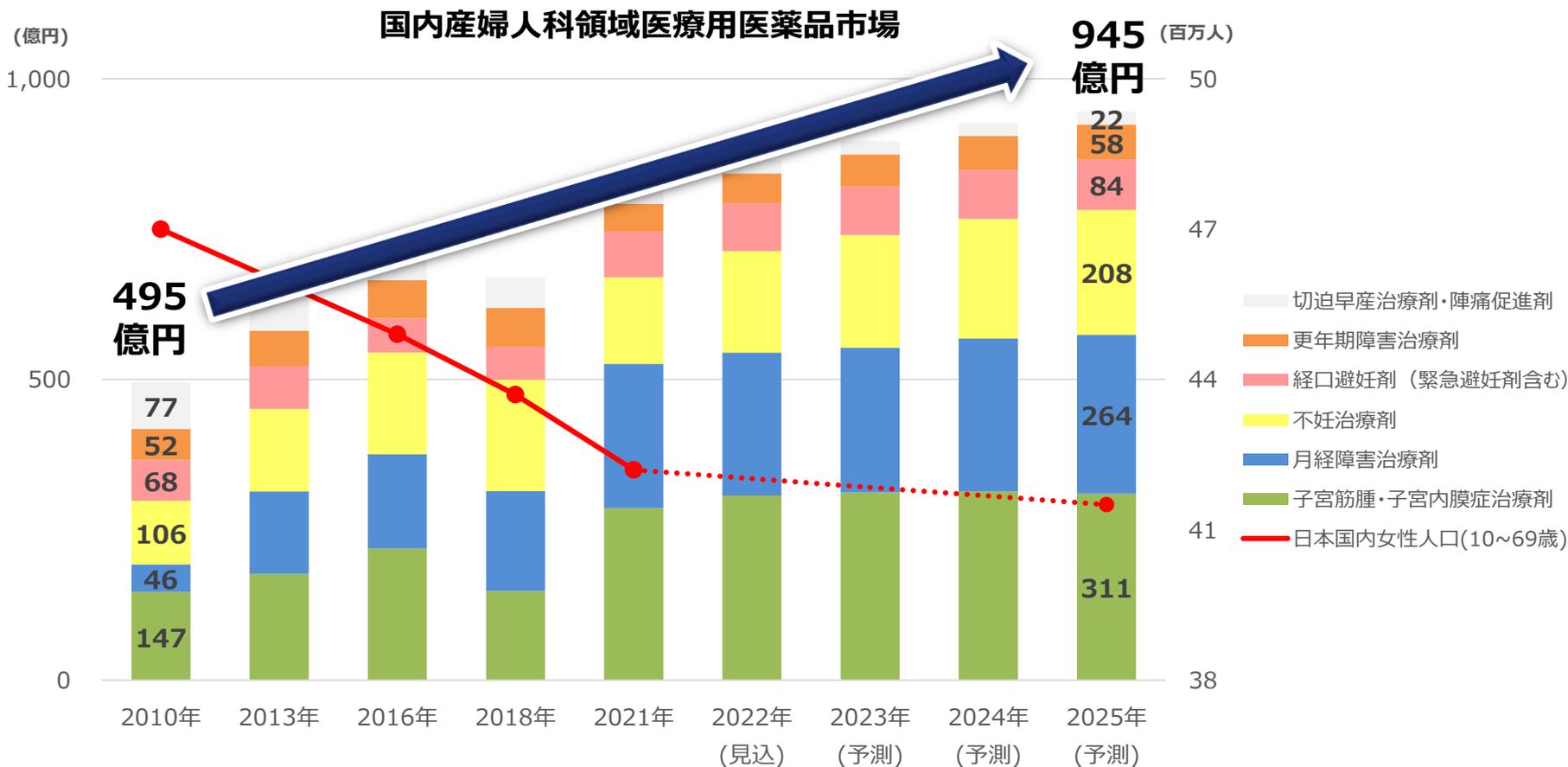
- 「女性医療領域のスペシャリティファーマ」として、女性医療領域において更なる貢献をしてまいります。



※1) 上期実績
 ※2) 新薬比率 = 当社区分「女性医療」のうち「新薬」の売上高 / 「女性医療」売上高

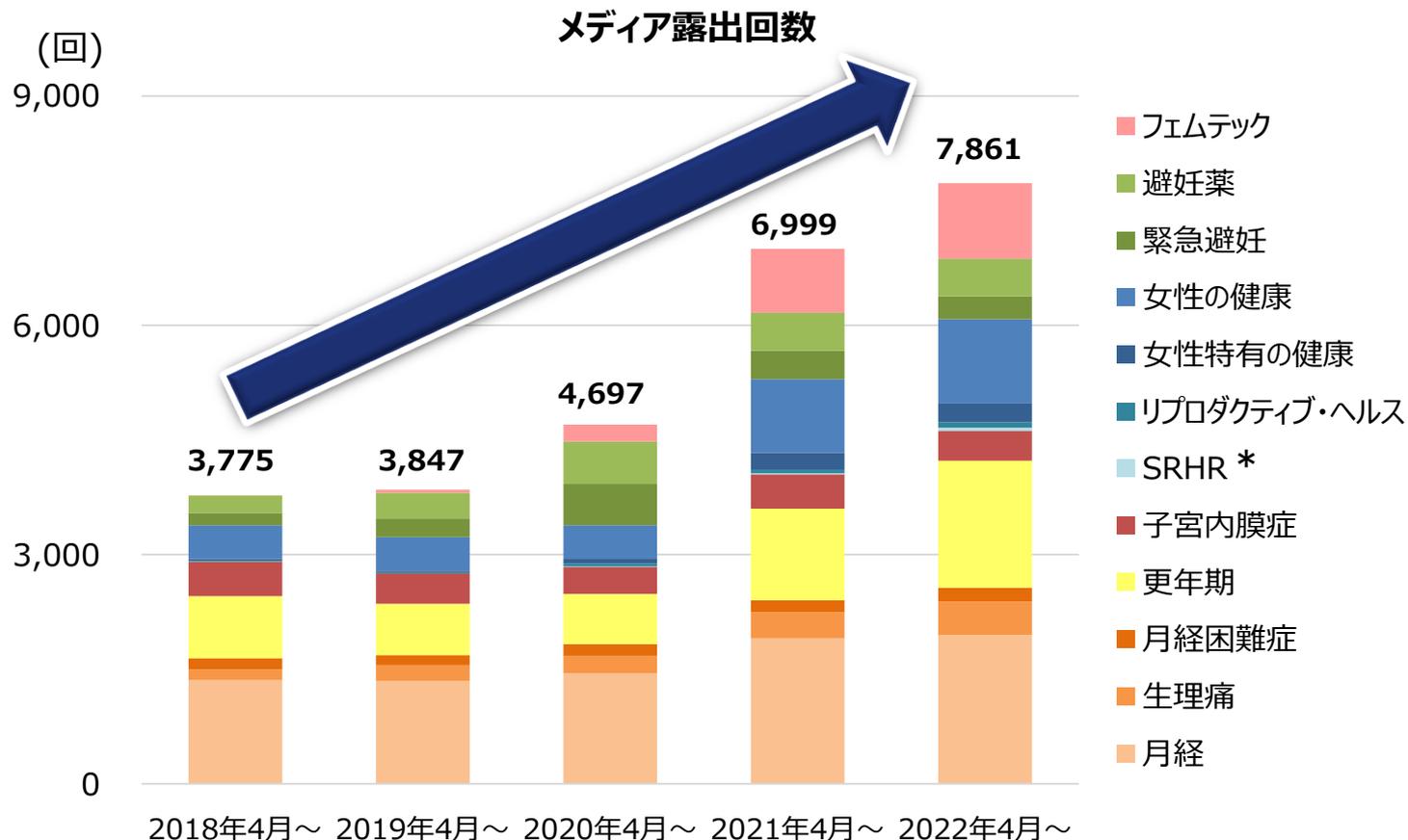
市場環境：① 拡大する女性医療領域

- 日本の人口が減少する中で、女性医療の医薬品市場は、**1.9倍**に拡大する見通し



※富士経済（2018-2019医療用医薬品データブックNo.4）
 富士経済（保険適用で注目される産婦人科関連市場のトレンド分析と将来予測）
 e-stat 人口動態統計2021年、国立社会保障・人口問題研究所（将来の地域別男女5歳階級別人口）

- 女性の健康課題のメディア露出回数は、4年で**2.1倍**に



※日経テレコン（2018年4月28日～2023年4月27日）
新聞、雑誌、ニュースの各キーワードごとの検索結果件数（検索実施日：2023年7月4日）

* SRHR（Sexual and Reproductive Health and Rights）：性と生殖に関する健康と権利

● 経口避妊薬普及率※1



3%



14%



33%

● ホルモン補充療法（HRT）普及率※2



2%



38%



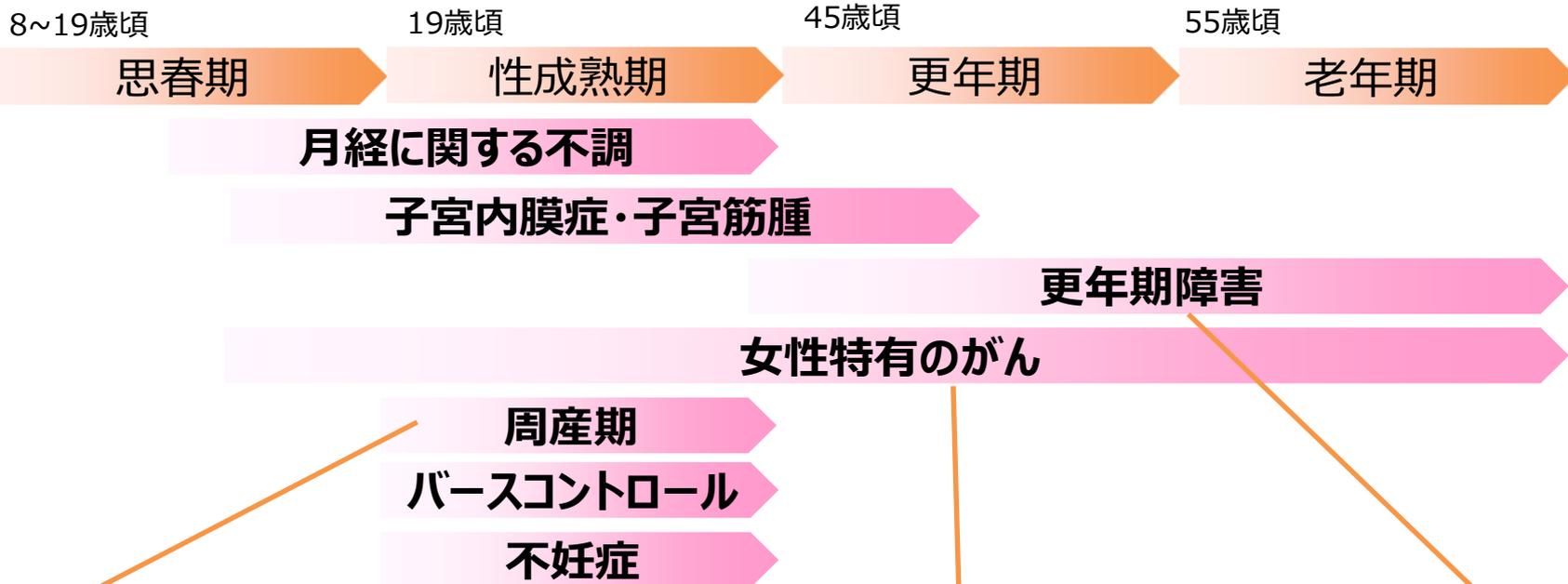
38%

※1) 出典：United Nations:「Contraceptive Use by Method 2019（15～49歳の婚姻状態又はそれに準じた生殖年齢女性における各避妊法の実施率より）」

※2) 出典：V.Lundberg et al.Maturitas 48(2004)39-43, 更年期と加齢のヘルスケアVol.8(2009)60-66

富士製薬工業の取組み：①製品ラインナップの拡充

- 女性のwell-beingに貢献すべく、今中経も製品ラインナップの拡充を図ってまいりました。引き続き活動を行ってまいります。



栄養機能食品 (亜鉛)
LAFILL.
ラフィル 葉酸+ケストース

フォリアミン[®]錠

プロウペス[®]錠用剤10mg

ドキシル[®]注20mg

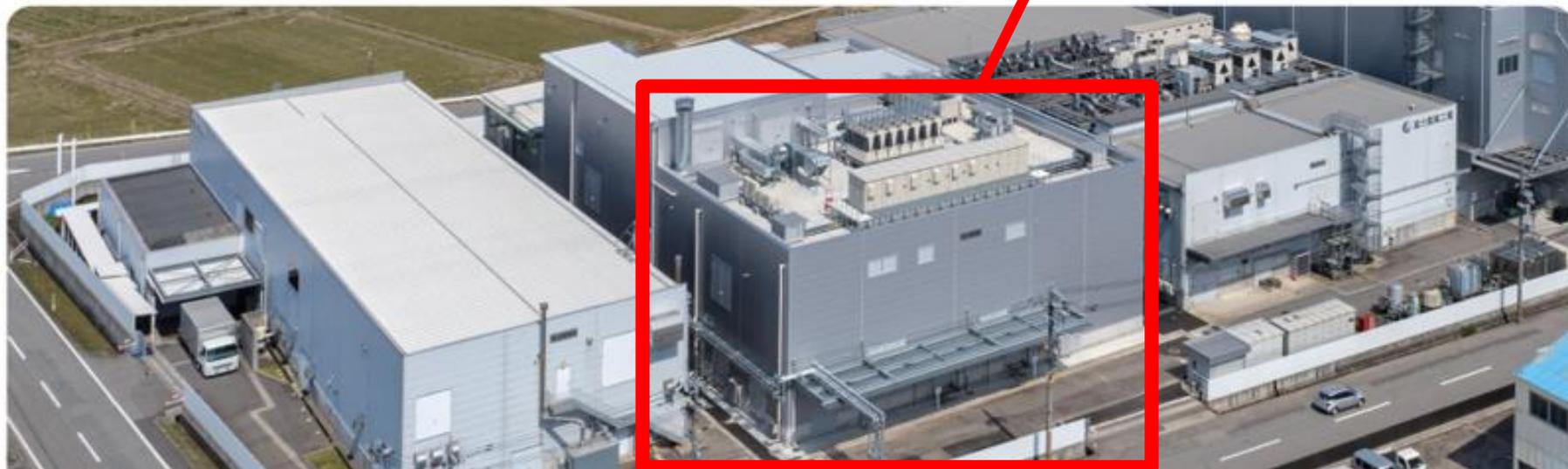
エフメノ[®]カプセル100mg

中経期間中（2020年9月期～）の主な新規取扱い品

● 新錠剤棟の稼働（2023年11月を予定）

- ✓ ホルモン錠剤の製造/試験キャパシティー拡大
- ✓ ホルモン錠剤製造の高い封じ込め技術
- ✓ PIC/S GMP* 査察基準への対応

錠剤製造能力3倍に



* GMP (Good Manufacturing Practice) : 医薬品の製造管理及び品質管理の基準
PIC/S GMP : GMPの国際標準

- **健康支援アプリ「LiLuLa」**
思春期から更年期まで幅広い女性の健康支援を目的としたスマートフォン版アプリを運営しています。

女性のための健康支援アプリ



LiLuLa リルラ



生理日や基礎体温などの管理ができる。

産婦人科の専門医が監修

全国約100名の医療従事者も応援！

利用は完全無料
アプリ内課金も一切なし



App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

- **女性の健康に関する各種セミナー、団体への協賛**
女性の健康に関する一般の方向けのセミナーや、女性のwell-being実現に向けた活動を行う団体への協賛を行っています。

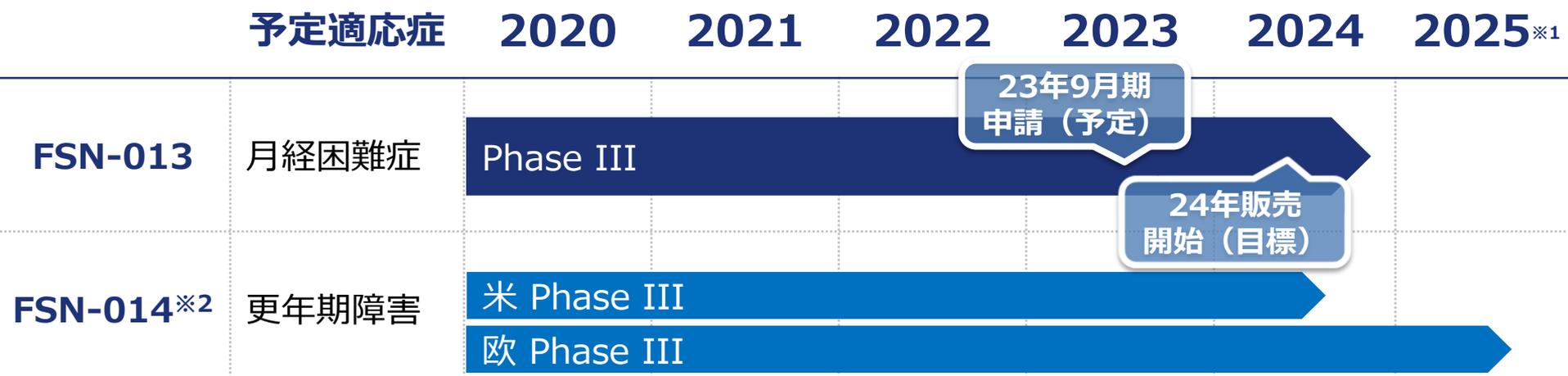


女性たちに、生き抜く力を。

日本女性財団

女性のための働き方改革！

生理快適プロジェクト



※1)時間軸は当社目標時期

※2)海外の参考情報です。当社は国内でのみ開発、販売を行います。

製品パイプラインの拡充に向けた活動

領域：

- 女性医療領域の成長分野選定
- 新領域への挑戦

方法：

- 国内外での案件探索
- 既存製品再評価
- 提携・承継案件

組織：

- 経営戦略本部設置（本部長：鈴木聡）
- 国内外探索機能強化
- 早期評価体制構築

概要

- 次世代の月経困難症治療薬
- エステロール／ドロスピレノン配合剤（卵胞ホルモンと黄体ホルモンを組み合わせた配合剤）
- エステロールは新規成分でユニークな作用を持つ天然型の卵胞ホルモン
- 従来の月経困難症治療薬に使用されている卵胞ホルモン（エチニルエストラジオール）を含む併用投与でよく報告されている副作用を減少させることを期待し開発
- 米国・欧州において承認済

特徴

- エステロールは血液凝固系に対する影響が既存薬に比べ少ない
- エステロールは薬物相互作用の影響が少ない
- 良好な出血コントロールが期待できる
- 脂質に対する影響が少ない
- 体重増が起きにくい

国内開発

- 適 応 症** : 月経困難症
子宮内膜症に伴う疼痛に対する改善効果
- 開 発 段 階** : 有効性評価終了
長期投与試験実施中
- 申 請 時 期** : 申請準備中
- 上 市 時 期** : 2024年（目標）

試験目的	日本人の月経困難症患者を対象に、FSN-013（エストロール [E4] 15mg/ドロスピレノン [DRSP] 3mg配合錠）を24日間、直後にプラセボを4日間投与する計28日間を1周期とし、4周期（16週間）投与した際の月経困難症に対する有効性について、プラセボに対する優越性を検証する。また、13周期（52週間）投与した際の長期安全性を検討する。
デザイン	多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間（第Ⅲ相）
被験者数	150例（FSN-013群：75例、プラセボ群：75例）
対象	月経困難症患者
用法・用量	<p>①FSN-013を24日間投与し、直後にプラセボを4日間投与する。計28日間を1周期とし、4周期（比較試験期）と9周期（継続投与期）の計13周期投与とする。</p> <p>②プラセボの28日間投与を1周期とし、4周期（比較試験期）投与する。その後、FSN-013を24日間投与し、直後にプラセボを4日間投与する計28日間を1周期とし、9周期（継続投与期）投与する。投与期間は計13周期投与とする。</p>
評価項目	<p>主要評価項目：ベースライン観察期から比較試験期（4周期、16週間）までの月経困難症スコア合計値の変化量。</p> <p>副次評価項目：月経困難症症状に対するVAS値のベースライン観察期からの変化量等</p> <p>安全性評価項目：有害事象、再来月経までの日数、TVUS等</p> <p>薬物動態：E4及びDRSPの血漿中未変化体濃度</p>

試験目的	日本人の子宮内膜症患者を対象に、FSN-013（エストロール [E4] 15mg/ドロスピレノン [DRSP] 3mg配合錠）を24日間、直後にプラセボを4日間投与する計28日間を1周期とし、6周期（24週間）投与した際の子宮内膜症に伴う骨盤痛（下腹部痛・腰痛）の変化について、プラセボに対する優越性を検証する。また、13周期（52週間）投与した際の長期安全性を検討する。
デザイン	多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間（第Ⅲ相）
被験者数	150例（FSN-013群：75例、プラセボ群：75例）
対象	子宮内膜症患者
用法・用量	<p>①FSN-013を24日間投与し、直後にプラセボを4日間投与する。計28日間を1周期とし、6周期（比較試験期）と7周期（継続投与期）の計13周期投与とする。</p> <p>②プラセボの28日間投与を1周期とし、6周期（比較試験期）投与する。その後、FSN-013を24日間投与し、直後にプラセボを4日間投与する計28日間を1周期とし、7周期（継続投与期）投与する。投与期間は計13周期投与とする。</p>
評価項目	<p>主要評価項目：ベースライン観察期から比較試験期（24週）の「最も高度な骨盤痛（下腹部痛・腰痛）」のVAS値変化量。</p> <p>副次評価項目：月経時又は消退出血時の骨盤痛（下腹部痛・腰痛）等</p> <p>安全性評価項目：有害事象、再来月経までの日数、TVUS等</p> <p>薬物動態：E4及びDRSPの血漿中未変化体濃度</p>

- 月経困難症患者を対象としたプラセボ優越性検証試験（主要評価項目：日常活動度と鎮痛薬使用を各ドメインとする月経困難症スコア [0~6点]）、及び子宮内膜症患者を対象としたプラセボ優越性検証試験（主要評価項目：最大の骨盤痛VAS値）の、開鍵の結果、いずれの試験においてもプラセボ優越性が検証された。
- それぞれの試験における副次評価項目※に関しても、FSN-013はプラセボに比し改善することが示された。
※疼痛関連項目（疼痛スコア、症状VAS、鎮痛薬使用、有効例割合）、QOL関連項目（日常活動度障害、睡眠障害、労働生産性障害、臨床全般印象改善度、患者般印象満足度）、また器質性病変に対する薬剤治療目標を踏まえ、双合診（卵巣チョコレート嚢胞、ダグラス窩硬結、子宮可動性、骨盤圧痛）など
- 安全性に関して、発現した有害事象はEP配合剤によくみられる事象で、発現率を含めFSN-013に特異的と考えられる事象は認められなかった。

月経困難症及び子宮内膜症（疼痛）に対する治療において、FSN-013の治療介入のリスクベネフィットバランスは本邦既承認薬に匹敵、もしくは上回ると判断。

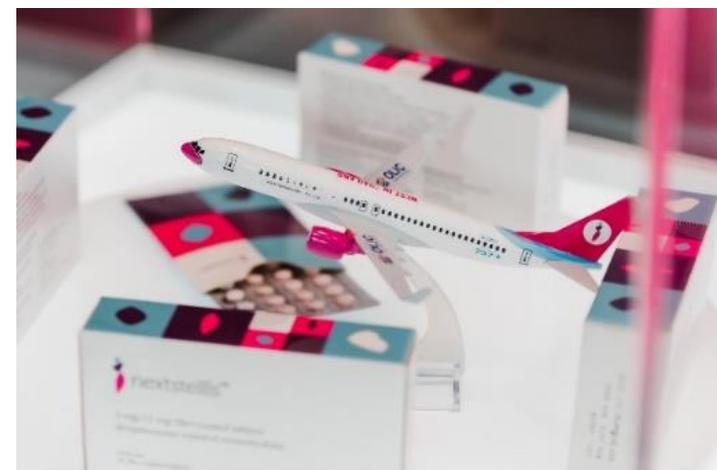
- OLICによるFSN-013の自社販売を実現、タイを中心にASEANでの事業展開を進めてまいります。

タイでの展開

- ✓ 2023年4月、FSN-013※¹の販売開始
- ✓ タイにおける高価格帯経口避妊薬市場は約28億円※²
- ✓ ローンチイベント開催、セミナー協賛を通じブレイク強化

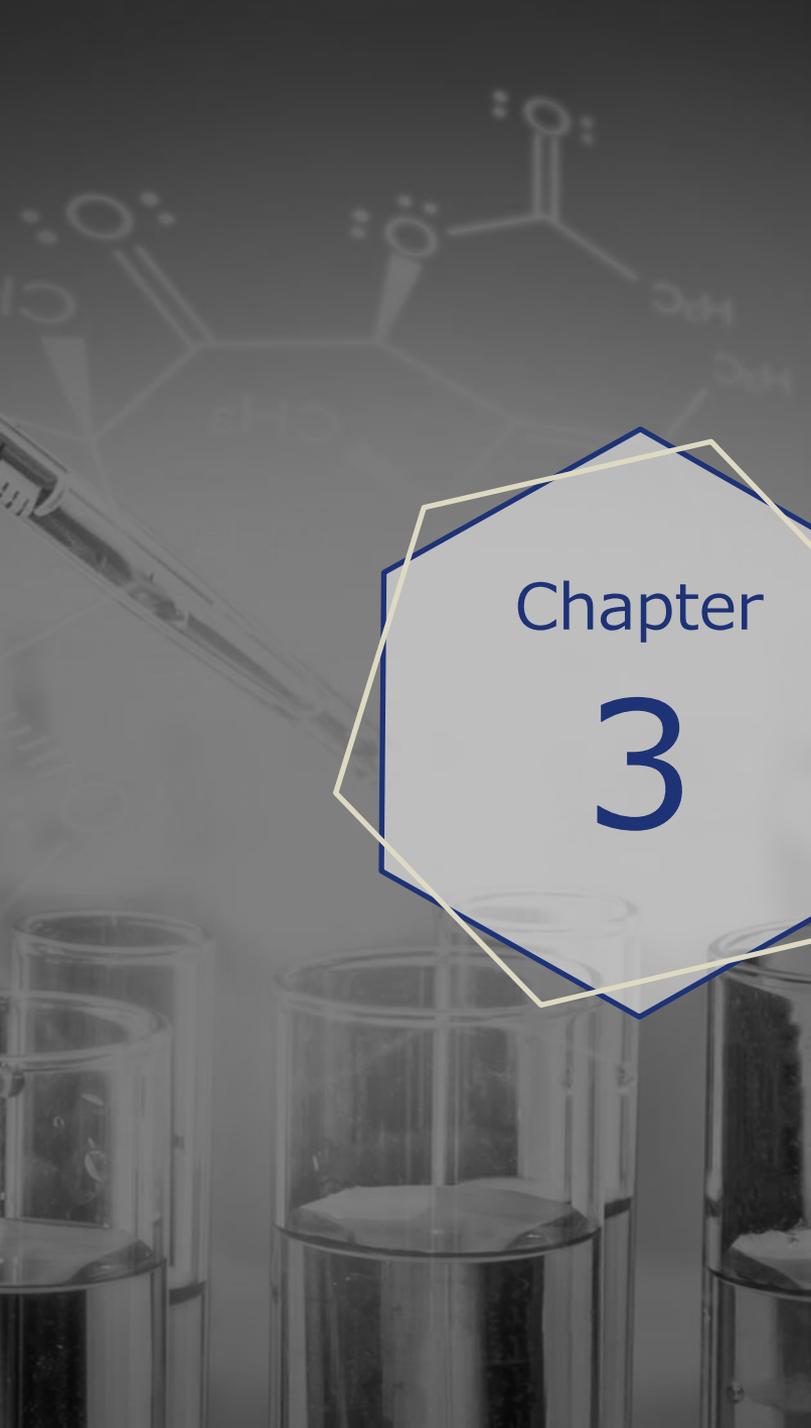
その他地域での展開

- ✓ ASEAN主要国（インドネシア、フィリピン、シンガポール、マレーシア、ベトナム）において、サブライセンス先と協議中



※1)適応は「避妊」

※2)Copyright © 2023 IQVIA. 出典: IQVIA MIDAS(20Q4-21Q3)をもとに自社推計 無断転載禁止 当社会計年度に合わせ毎年10月～9月を集計

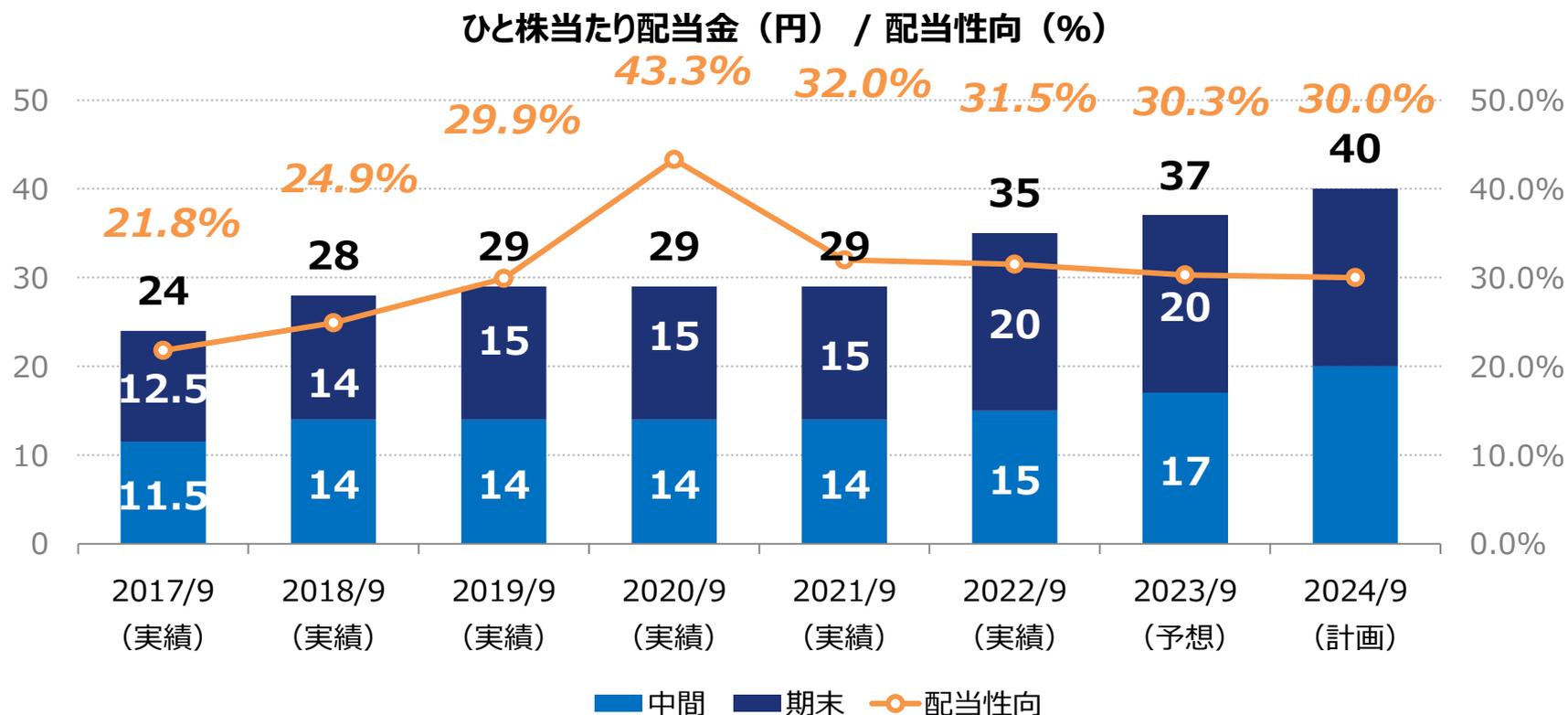
The background of the slide is a grayscale image of a laboratory. In the foreground, several test tubes are visible, some containing liquids. In the background, a chemical structure is overlaid, showing a complex molecule with various functional groups and atoms. The overall theme is scientific or chemical.

Chapter

3

財務戰略

当社らしい価値を提供するための投資を行いながら、安定配当を軸に配当性向30%を目指します。

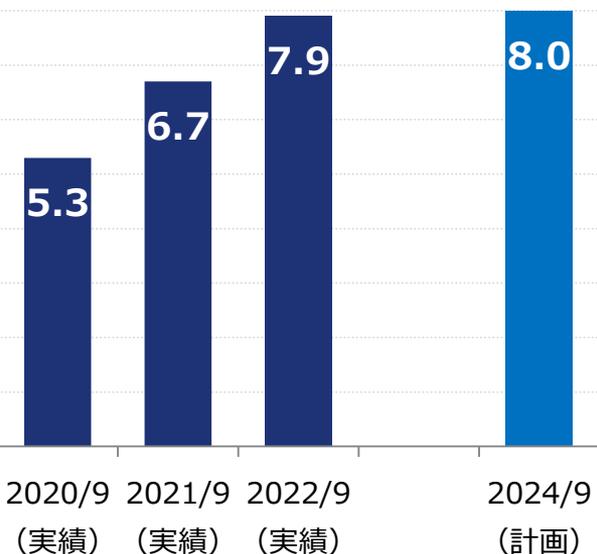


※ 2018年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施

そのため、2018年9月期中間配当以前は、当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり配当金を算出

※ 2023/9の配当性向は期初計画値

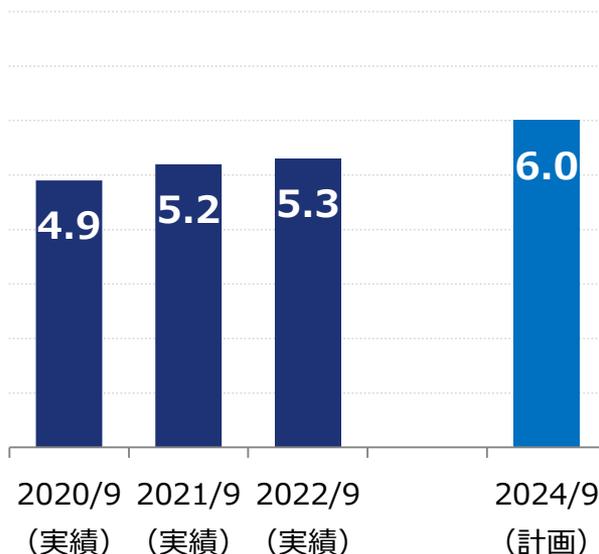
ROE (%)



2029/9目標数値

10~15%

ROA (%)

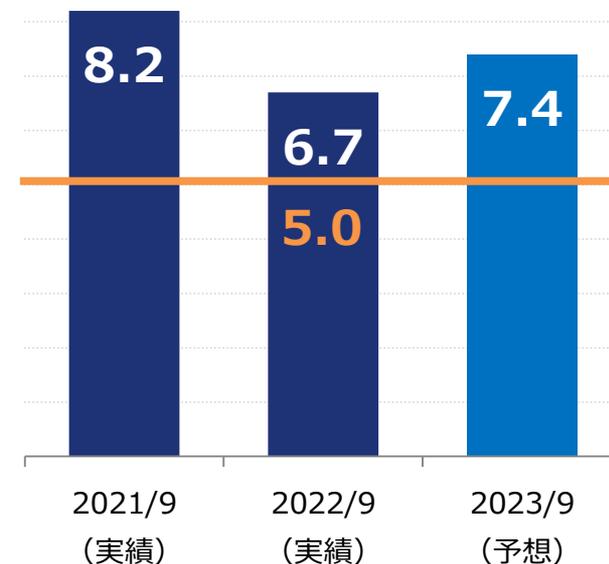


2029/9目標数値

10~15%

ROIC/WACC* (%)

■ ROIC — WACC

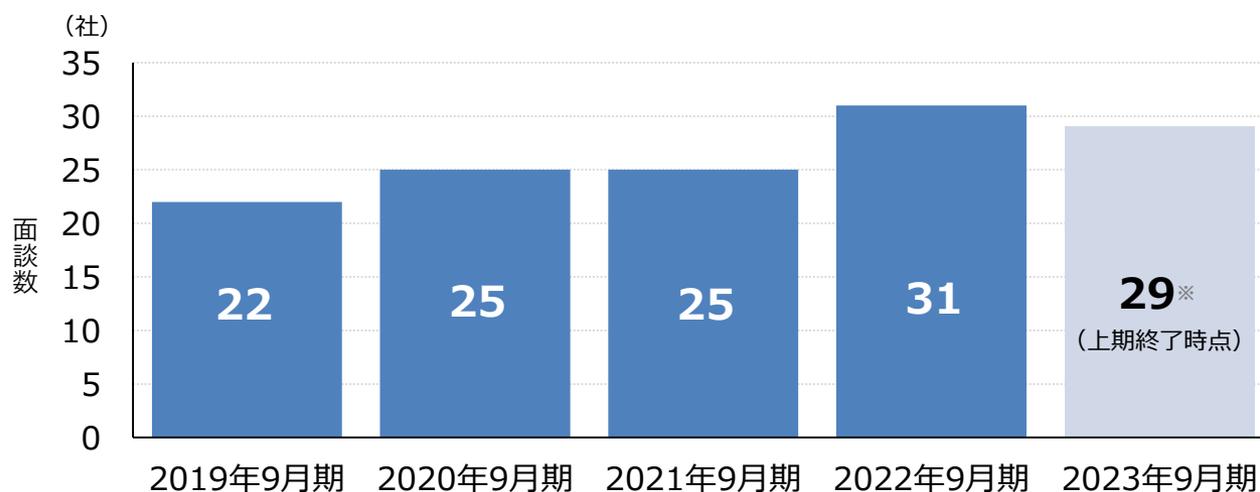


※ROIC：営業利益 ÷ (純資産 + 純有利子負債)
純資産および純有利子負債は各期末時点 (23/9月期は予想)

説明者	機関投資家/アナリスト向け			個人投資家向け
	決算説明会	スモール ミーティング	One-on-One	会社説明会
社長出席	2		10	1
上記以外		1	13	2
合計	2	1	23*	3

2022年9月期

機関投資家・アナリストとの面談数（当社会計期間毎）



※一度に複数の機関投資家にご説明する機会もございますので、
上表と下グラフにおける、2022年9月期の数値は一致しておりません

本日はご参加ありがとうございました。

当社はIRメール配信サービスを行っております。
配信のご登録をいただいた皆さまには、当社の決算情報やリリース
情報をメールでタイムリーにお知らせいたします。

ぜひご登録ください。

<https://www.fujipharma.jp/ir/mail/>



予想および見通しに関するご注意事項

本資料に記載の業績予想及び将来の予想等に関する記述は、資料作成時点で入手した情報に基づき弊社にて判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、予めご了承ください。また、本資料に含まれている医薬品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

連絡先

富士製薬工業株式会社 経営戦略本部 経営企画部 経営企画課

E-Mail : fsk_ir@fujipharma.jp

U R L : <https://www.fujipharma.jp/>